

「ウィルソン主義」の一〇〇年

日本国際政治学会編

- 序章 「ウィルソン主義」の一〇〇年……………西崎文子
 オーストリア=ハンガリー帝国の
 解体とウィルソン主義……………馬場優
 ウッドロー・ウィルソン政権の対ロシア政策……………高原秀介
 パリ講和会議イギリス代表団の「ウィルソン主義」……………大久保明
 フランスの国際連盟政策と「ウィルソン主義」、
 一九一九—一九二四年……………細川真由
 ウィルソンの国際秩序思想……………秋元悠
 ウィルソン、ウィルソン主義と米ビザ制度……………大鳥由香子
 国際連盟事務局における日本人事務局員……………番定賢治
 ウィルソンのリベラル介入主義の再考……………草野大希
 〈書評〉
 A・ビョルクダール、K・ヘーグルンド、G・ミラー、
 J・ファン・デル・ライン、W・フェコーレン編
 『平和構築と摩擦』……………藏田明子
 洪琬伸著
 『沖縄戦場の記憶と「慰安所」』……………池上大祐

国際政治

198